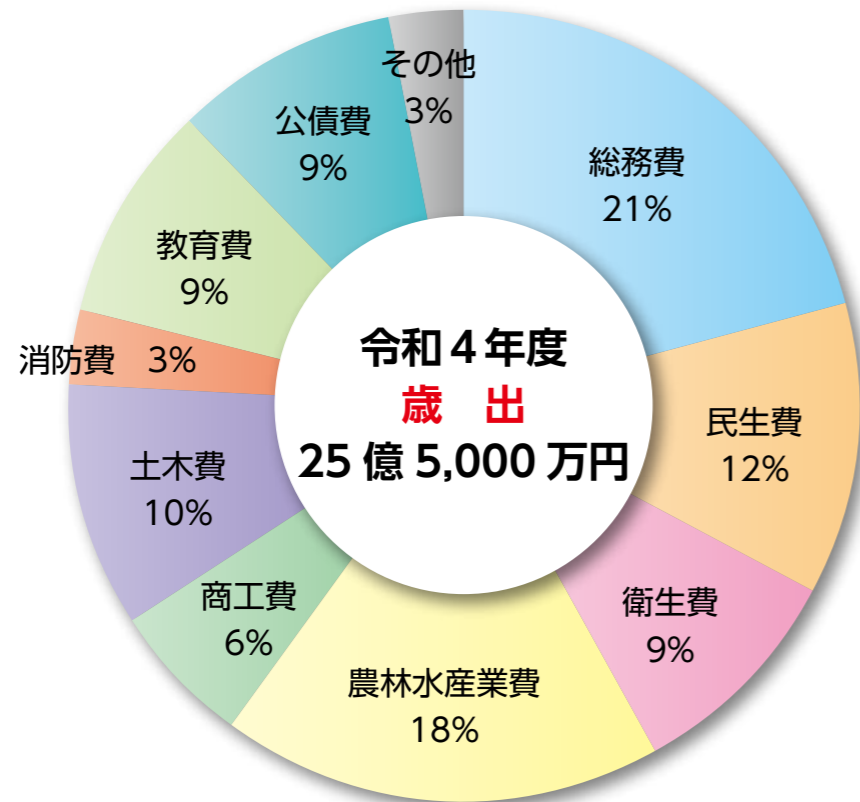


一般会計の経費別構成（歳出）



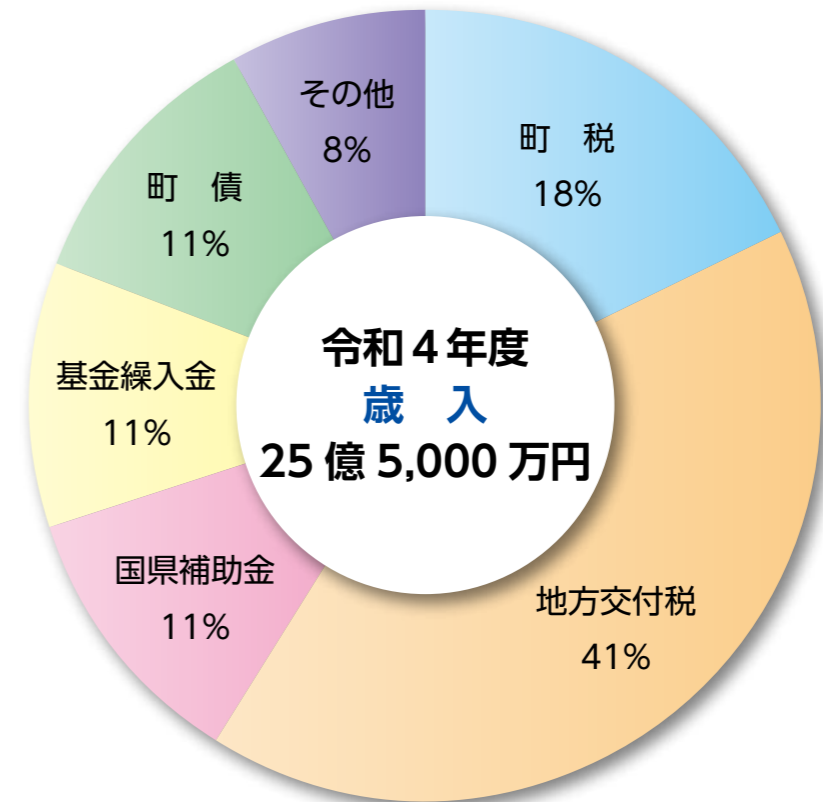
歳 出

(持続可能な町づくりに期待)

水稻の作付面積や受託数量の増加などから、投資的事業としてライスセンターの拡張工事や有害鳥獣処理施設の新設工事が示され、老朽化した保育所の改築に向けた実施設計への着手など、子育て環境の整備も計画されています。移住定住促進にむけた担い手支援住宅整備事業も継続実施される予算となりました。

以上のことから、投資的経費としては、歳出総額の12.9%、3億2,816万円が計上され、社会資本の充実とともに、産業の振興、雇用機会の確保、生活安定の確保、移住定住の促進による持続可能な町づくりが期待されます。

一般会計の財源構成（歳入）



令和4年度予算総額 35億300万円

一般会計25億5,000万円・特別会計9億5,300万円と、前年度比2億1,730万円(6.6%)の増額となりました。

歳 入

(地方交付税で前年比1億円増を見込む)

町税でダム交付金が646万円の減額となりましたが、償却資産などで721万円の増額となり、町税全体では前年より92万円増の4億7千万円余りが見込まれ、地方交付税では地方財政計画の見直し(増額)からに合わせ、普通・特別交付税の総額が前年より1億円増の10億5千万円が見込まれました。

また、国庫支出金では社会福祉関連を含む民生費負担金などが3,582万円、鳥獣害防止総合支援事業交付金が4,636万円、ライスセンター拡張事業にあてる地方創生拠点整備交付金が6,514万円など総額1億7,627万円を見込み、県支出金では民生費負担金や総務費補助金、農林業補助及び福祉関連交付金などを含め総額9,843万円が見込まれています。

一方、基金からの繰入金では世代間交流対策基金や振興基金、財政調整基金などから総額2億7,927万円を取り崩して財源の確保と収支の均衡を図り、地方債(新たな町の借入金)では過疎対策事業債や臨時財政対策債で総額2億7,290万円を見込んだ予算額となりました。

特別会計

- ◆ 国民健康保険(事業) [1億8,900万円]
- ◆ 国民健康保険(直診) [9,800万円]
- ◆ 簡易水道 [1億4,000万円]
- ◆ 町営バス [4,900万円]
- ◆ 公共下水道 [1億6,900万円]
- ◆ 介護保険 [2億8,500万円]
- ◆ 介護サービス [1,500万円]
- ◆ 後期高齢者医療 [2,500万円]
- ◆ 七ヶ宿ダム自然休養公園 [1,900万円]
- 総額 [9億5,300万円]